



(写真) Shutterstock “米国大統領選 共和党のトランプ候補が当選、マドゥロ大統領も当選に祝辞”

2024年11月6日(水曜)

政治

- 「[トランプ候補当選決定 マドゥロ政権の反応](#)
～PSUV 副党首 両国の関係は良くなる～」
- 「[ゴンサレス候補 トランプ候補の当選に祝辞](#)」

経済

- 「[2025年ベネズエラ経済は不透明](#)
～制裁ライセンス撤回なら産油量25%減～」
- 「[露ベネズエラ貿易 2年で453%増](#)」
- 「[OVF 24年1～9月の経済成長率3.8%増](#)」

社会

- 「[ベネズエラ特有の昆虫食](#)」

2024年11月7日(木曜)

政治

- 「[ベネズエラ・ロシア ハイレベル会合開催](#)
～金融・国防・航空など関係強化で合意～」
- 「[ゴンサレス候補 自身の国際指名手配を批判](#)」

経済

- 「[PDVSA・Rosneft 資源分野で関係強化](#)」
- 「[OFAC CITGO 保護の制裁ライセンス更新](#)」
- 「[OFAC 石油サービス会社4社ライセンス更新](#)」

社会

- 「[24年 殺人発生は10万人中3.49件](#)」
- 「[シェフ国際大会でベネズエラ人5人が受賞](#)」

2024年11月6日（水曜）

政治

「トランプ候補当選決定 マドゥロ政権の反応
～PSUV 副党首 両国の関係は良くなる～」

11月5日に米国で行われた大統領選は、共和党トランプ候補の勝利で終わった。

トランプ候補の当選を受けて、11月6日にマドゥロ政権は祝辞を公表。

「マドゥロ政権は常に対話・尊重・思慮を前提とした良好な関係を築く用意がある」

「国家主権・国家自決を認めることが、新たな世界に必要」との姿勢を示した。

また、同日にマドゥロ大統領は YouTube にてトランプ候補の当選について、

「我々とトランプ氏1期目の関係は良いものではなかった」「両国にとって Win-Win な関係が始まる」

「トランプ政権に幸の多い未来を願う」

「憲法に準じてベネズエラで当選したニコラス・マドゥロは米国と全世界とのポジティブな関係を築く用意がある」とコメントした。

なお、与党「ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV)」のデイオスタード・カベジョ副党首（内務司法相）もトランプ候補の当選について言及。

「2期目のトランプ政権は、マドゥロ政権を尊重するだろう」との見解を示した。

「トランプはマドゥロを強い男だと認識している」

「また、1期目の政策が失敗だったと完べきに理解しており、ベネズエラの反政府派が無能で腐敗した集団であることも理解している」

「従って、我が国に対して配慮をもって接する選択が検討テーブルに挙がっている」

との見解を示した。

「ゴンサレス候補 トランプ候補の当選に祝辞」

トランプ候補の当選を受けて、野党側もトランプ候補に祝福のメッセージを送っている。

ベネズエラ大統領選に野党候補として出馬したエドモンド・ゴンサレス候補は、ソーシャルメディアにて

「民主的なプロセスで米国大統領選に当選したダニエル・トランプ氏の当選を祝福する」

「米国民は自身の意志を表明した」

「民主主義の精神と政権交代は選挙当局の信頼と民主主義政治を強化させる」



La República Bolivariana de Venezuela felicita al pueblo de los Estados Unidos de América por las elecciones presidenciales celebradas el pasado 5 de noviembre de 2024, y al Presidente Electo Donald J. Trump por su victoria en dicho proceso.

Venezuela siempre estará dispuesta a entablar buenas relaciones con los gobiernos estadounidenses, enmarcadas en un espíritu de diálogo, respeto y sensatez.

El reconocimiento a la soberanía y a la autodeterminación de los pueblos son fundamentales para la construcción de un mundo nuevo, donde impere el equilibrio entre las naciones libres.

El pueblo de Venezuela comparte lazos históricos con el pueblo de los Estados Unidos, con quienes aspiramos transitar un sendero de paz y justicia social, donde no tengan cabida la guerra, la exclusión, la discriminación, y donde la cooperación y el respeto mutuo entre naciones, sean el estandarte de las relaciones internacionales.

Con el espíritu del Libertador Simón Bolívar Venezuela ratifica su diplomacia de paz y de diálogo.

Caracas 06 de noviembre del 2024

「“当選した大統領“という同じ立場において、自国民の幸福を前提に我々の関係の繁栄に善処する」と投稿した。

また、野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏もトランプ候補の当選を受けて、ソーシャルメディアに祝福のメッセージを投稿。

「ベネズエラから、米国大統領選に当選したダニエル・トランプ氏と米国民に祝福を送る」「ベネズエラは数百万の国民にとって重要な時期にいる」

「我々は遅延なく民主的な政権移行を実現するために米国民と民主的な政府のサポートに頼ることになる」

「トランプ大統領、ベネズエラ国民は7月28日に民主的な政府を選んだ」「憲法規定に従って、2025年1月10日に政権交代する」

「我が国の国民の幸福のためにも、あなたの政府と共に活動する信頼できる同盟国になるだろう」

「家族が自国に帰還し、米州地域が安定し、我が国のエネルギー大国としての真のポテンシャルが発揮される」とコメントした。

経 済

「2025年ベネズエラ経済は不透明

～制裁ライセンス撤回なら産油量25%減～」

トランプ大統領の当選を受けて、2025年以降のベネズエラ経済の不透明感は増したと考えられている。

ハリス候補が当選した場合、バイデン政権の方針（制裁緩和・対話支持）が継続される見通しだった。

しかし、トランプ候補が当選したことでトランプ政権1期目に行った圧力方針に回帰する懸念が生じている。

しかし、トランプ氏の行動は予測不能で、バイデン政権の対ベネズエラ政策を継続する可能性もある。また、急激に関係改善に乗り出す可能性も完全には否定できず、ベネズエラ経済の先行きに対する不透明感が増している。

ベネズエラ人経済学者の Luis Arturo Bárcenas 氏は、2025年のベネズエラ経済成長率について、「2024年よりも低くなるだろう」と予測。前年（2024年）比3～4.5%増との見通しを示した。

Bárcenas 氏は、2025年経済について「外的要因、特に米国の対ベネズエラ政策が大きく影響する」と指摘。

2025年1月10日以降のベネズエラの大統領認識について触れ「2025年は極めて複雑だが、複雑なだけでなく、不透明で、とても危険な状況」との見解を示した。

また、現地経済調査会社「Ecoanalítica」は、25年のベネズエラ経済について、前年比2.5%増と予想。インフレ率について年率70%と予想した。

「Ecoanalítica」のルイス・オリベロス氏も2025年について「不透明な年になる」と指摘。

「特に米国のベネズエラ石油産業に対する方針、制裁ライセンスの対応が大きく影響する」とコメント。

「2022年～24年にかけて、ベネズエラの産油量は日量70万バレルから日量90万バレルまで増産したが、これらの増産は外国企業の活動再開によるもの」と指摘。

「仮にトランプ政権が「Chevron」「Repsol」「Maurel & Prom」などに発行している制裁ライセンスを撤回するのであれば、ベネズエラの産油量は25%減少する」との見解を示した。

「露向けの非石油部門輸出 2年で453%増」

11月6日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、「ベネズエラ・ロシア企業評議会」に出席。

2022年～24年にかけて、ベネズエラからロシア向けの非石油製品の輸出額が453%増えたと言及した。

ベネズエラからロシア向けの輸出の89%は「食料品」「たばこ」「飲料」だという。

また、ロシアからベネズエラ向けの輸出に関しては、46%が「食料品」、38%が「化学品」、7%が「資本財」、9%が「その他」だという。

なお、ロドリゲス副大統領は「ベネズエラからロシア向けの輸出額が453%増えた」と述べているが、具体的な輸出額は言及していない。

「International Trade Center (ITC)」によると、2021年のロシアによるベネズエラからの輸入額は179万ドル。2022年の輸入額は不明だが、金額自体がそこまで大きくないため、ベネズエラにとってのインパクトは小さいと思われる。

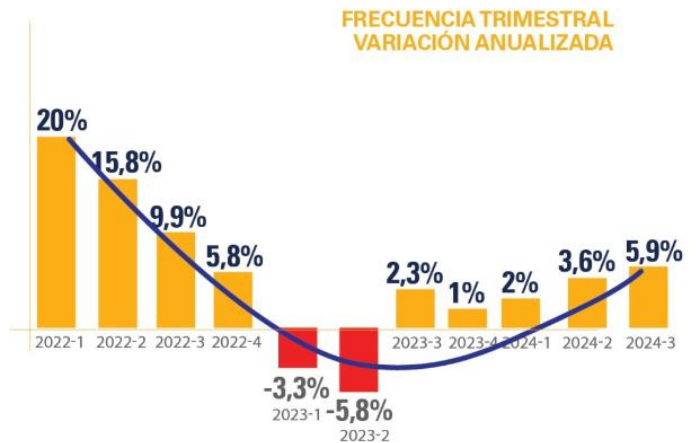
「OVF 24年1～9月の経済成長率3.8%増」

「ベネズエラ金融観測所 (OVF)」は、2024年第3四半期（7～9月）のGDP成長率について、石油部門が経済をけん引し、前年同期比5.9%増と予想した。

石油部門は、産油量の増加を背景に前年同期比11.9%増、非石油部門は同3.2%増だったとしている。

また、2024年1～9月までのGDP成長率については、前年同期比3.8%増と予想した。

INDICADOR DE ACTIVIDAD ECONÓMICA ◀◀



(写真) OVF

社 会

「ベネズエラ特有の昆虫食」

日本でも昆虫食が注目を集めている。一般的に食されているわけではないが、ベネズエラでも特有の昆虫食文化が存在する。以下では、昆虫食について紹介したい。

「Araña mona」



足を伸ばすと全長25センチほどになる蜘蛛。
ベネズエラ南部の先住民族が焼いて、足と頭を食べると
いう(内臓は捨てられる)。蜘蛛の肉は柔らかく、ソフト
な味で、舌触りはカニに近いという。

「Gusano de Moriche」



ワラオ族のYordana Medrano氏によると、この芋虫は、
完全に食べられる虫で、栄養豊富だという。
焼いて食べるのが一般的のようだが、汁物の具にする場
合もあるようだ。芋虫であることを知らずに食べれば、
多くの人が「美味しい」と評価するという。

「Hormiga limonera」



(写真) El Estimulo

食用アリ。先に紹介した2つの虫よりも抵抗感は少ない
かもしれない。柑橘系の味がする。焼いても生でも食べ
ることが出来る。

そのまま食べることもできるし、デザートのおトッピング
として食べることもできる。

カラカスのジェラート店「Fragolate」でも販売されてい
る。同店舗は「Metrocenter」「Valle Arriba Market Center」
「Centro Comercial San Luis」「Centro Sambil Chacao」
などにある。

2024年11月7日(木曜)

政治

「ベネズエラ・ロシア ハイレベル会合開催
～金融・国防・航空など関係強化で合意～」

11月7日 ロシア・ベネズエラ・ハイレベル級会合が
カラカスで開催された。

ロシアからは Dmitry Chernishenko 副首相が訪問。マド
ウロ大統領、ロドリゲス副大統領らと会談した。



(写真) 大統領府

“マドウロ大統領と露 Chernishenko 副首相”

今回の会合では、金融・国防・航空など複数の分野に関
する合意に署名した。

特に重要な合意は、制裁対策を目的とした「金融」「ロ
ジスティクス」「商取引」に関する協力合意。

また、スパイ活動・諜報活動に関連した合意、ドローン利用に関する合意を交わした。

他、Chernishenko 副首相は、「ベネズエラ国軍へ武器を供給する用意がある」とコメント。国防分野でも関係を強化する姿勢を示した。

また、ベネズエラ国営航空会社「Conviasa」とロシアの「RT Project Technologies SA」が航空分野の情報技術に関する合意を交わしたという。

他に確認できている合意の内容は以下の通り。

1. 重要分野での2030年までの協力計画合意
2. 両政府の科学技術協力合意
3. PDVSA とカザン連邦大学の石油・ガス・石油化学分野の研究協力合意
4. 欧州アジア関税優遇システムの相互支援合意
5. 地下資源・地理に関する両国の協力合意
6. 労働査察・雇用促進に関する協力計画合意

トランプ政権がベネズエラへの圧力政策に回帰する場合、マドゥロ政権は、ロシアやイランとの関係を強化することで生き残りを図ることになりそうだ。

「ゴンサレス候補 自身の国際指名手配を批判」

検察庁は、スペインに亡命したエドムンド・ゴンサレス候補の逮捕要請を「国際警察 (Interpol)」に出していると発表した。

検察庁によると、ゴンサレス候補の逮捕要請を正式に出したのは10月24日。容疑は「公権力の篡奪」「公文書偽装」「共謀」「虚偽の情報流布」「暴力の扇動」「マネーロンダリング」「公共システムへの攻撃」「電力サボタージュ」だという。

11月7日 この発表を受けて、ゴンサレス候補はマドゥロ政権による政治的な迫害を批判。「組織的な迫害が行われている証拠」とマドゥロ政権の対応を訴えた。

経 済

「PDVSA・Rosneft 資源分野で関係強化」

ロシア・ベネズエラ・ハイレベル級会合では「金融」「国防」「航空」などの分野に加えて、資源関連での協力強化に関する合意も交わされている。

「ベネズエラ国営報道局 (VTV)」によると、PDVSA と Rosneft は資源分野の安全な技術利用に関してアドバイス合意を交わしたという。

他、PDVSA とロシアの石油サービス会社「TNG Group」が超重質油の改良技術に関して協力合意を交わしたという。

2020年にトランプ政権はベネズエラで活動する外国企業へ制裁圧力をかけて、ベネズエラから強制的に撤退させた。

当時、この流れでロシアの「Rosneft Tradings」もベネズエラ事業から完全撤退しており、資源分野でのロシアのプレゼンスは大きく低下した。

今回の合意を機にベネズエラ国内でロシア企業の活動が活発になるのかもしれない。

「OFAC CITGO 保護の制裁ライセンス更新」

11月7日 米国の「外国資産管理局 (OFAC)」は、制裁ライセンス No.5 を更新。

CITGO を PDVSA 20 債の保有者から保護する期間を 4 か月間延長した。

PDVSA 20 債は、CITGO の株式 50.1% が担保に設定されている。

PDVSA 20 債は、2019年10月にデフォルトしたため、本来であれば債券保有者は CITGO の株式 50.1% をもって投資を回収する権利があるが、OFAC が制裁ライセンス No.5 の更新を続けることで債券保有者の権利行使を妨げている。

今回の制裁ライセンス更新により、CITGO は 2025 年 3 月 7 日まで債権者から保護されることになる。

DEPARTMENT OF THE TREASURY
WASHINGTON, D.C.

OFFICE OF FOREIGN ASSETS CONTROL

Venezuela Sanctions Regulations
31 CFR Part 591

GENERAL LICENSE NO. 5Q

Authorizing Certain Transactions Related to the
Petróleos de Venezuela, S.A. 2020 8.5 Percent Bond on or After March 7, 2025

(a) Except as provided in paragraph (b) of this general license, on or after March 7, 2025, all transactions related to, the provision of financing for, and other dealings in the Petróleos de Venezuela, S.A. 2020 8.5 Percent Bond that would be prohibited by subsection (a)(iii) of Executive Order (E.O.) 13835 of May 21, 2018, as amended by E.O. 13857 of January 25, 2019, and incorporated into the Venezuela Sanctions Regulations, 31 CFR part 591 (the VSR), are authorized.

(b) This general license does not authorize any transactions or activities otherwise prohibited by the VSR, or any other part of 31 CFR chapter V.

(c) Effective November 7, 2024, General License No. 5P, dated August 12, 2024, is replaced and superseded in its entirety by this General License No. 5Q.

Lisa M. Palluconi Digitally signed by Lisa M. Palluconi
Date: 2024.11.07 08:29:19 -05'00'

Lisa M. Palluconi
Acting Director
Office of Foreign Assets Control

Dated: November 7, 2024

(写真) OFAC

「OFAC 石油サービス会社4社ライセンス更新」

11月7日 OFAC は、米国のエネルギー関連サービス事業者4社のベネズエラでの活動を制限する制裁ライセンス No.8 を更新。

ベネズエラでの施設の維持のための人材雇用や支出、PDVSA 関係者との面談や合意など現状維持のための最低限の活動を行うことを許可した。

ただし、これまで通り、ベネズエラ産原油の採掘・輸送・販売、ベネズエラ石油施設の設計・設置・改良など、本業とするオペレーションや PDVSA への配当金支払いは禁止されている。

対象となっているのは以下の4社。

- Halliburton
- Schlumberger Limited
- Baker Hughes Holdings LLC
- Weatherford International, Public Limited Company

同ライセンスの有効期限は 2025 年 5 月 9 日までとなっている。

社 会

「24年 殺人発生は10万人中3.49件」

「犯罪科学捜査班 (CICPC)」のドグラス・リコ班長は、2024 年現時点でのベネズエラ国内の殺人発生状況について 10 万人当たり 3.49 件と説明。

リコ班長によると、ベネズエラの殺人発生件数は 2016 年が最も高かったが、その後減少に転じており、2022 年の 10 万人当たり 6.8 件、23 年は 10 万人当たり 5.35 件と徐々に低下しているとした。

また、殺人以外の犯罪についても減少傾向にあると指摘。治安当局の犯罪撲滅オペレーションが功を奏しているとの見解を示した。

ただし、WhatsApp などアプリケーションを介した詐欺犯罪は増加していると補足。利用者に警鐘を鳴らした。

なお、非政府系団体「ベネズエラ暴力観測所（OVV）」は2023年のベネズエラの殺人発生状況について10万人中26.8人としており、CICPCの発表と大きく異なっている。

「シェフ国際大会でベネズエラ人5人が受賞」

11月6日～9日にかけてドバイでシェフの腕前を競う国際大会「The Best Chefs Awards」が開催されている。

同大会では61カ国550人のシェフが賞を受賞。

ベネズエラからは5人のシェフ（Iván García氏、Issam Koteich氏、Juan Luis Martínez氏、Ricardo Chaneton氏、Carlos García氏）が入賞したという。

ただし、5人のうちベネズエラでレストランを構えているのはIván García氏とIssam Koteich氏の2人だけで、残りの3人はペルー・米国・香港在住だという。

Iván García氏は、ロス・パロス・グランデスの「El Bosque Bistró」のオーナーシェフ。メニューや写真を見る限り、創作ベネズエラ料理を提供するレストランのようだ。

Issam Koteich氏は、ラス・メルセデスの「Cordero」のシェフ。「Cordero」は2022年にオープンしたレストランで、羊料理を提供するレストラン。

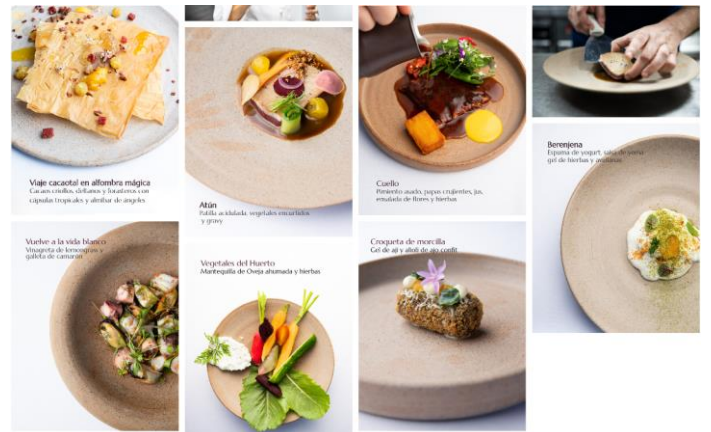
同レストランは2023年にも世界の質の高い料理・サービスを提供するレストランを選定する「One To Watch 2023」でラ米のベスト・レストラン TOP50に選ばれていた。

「El Bosque Bistró」



（写真） El Bosque Bistró Instagram

「Cordero」



（写真） Cordero

以上